いよいよ見学旅行！

　**高文連　後志支部高校演劇発表大会**

**小樽潮陵高校　　『じょっぴんぷりん』**

　演劇もこの仕事をしていなければ、おそらく触れていないだろう分野です。十月三日（木）、大橋さんが所属する演劇部の発表大会に行ってきました。

　大橋さん演じる「ザーコ」は妖怪見習いで、「人間を怖がらせる。感謝されるのはもってのほか」という使命を帯びて、人間界に行き、恭助（弟）と大樹（兄）の兄弟と出会う。詳細については、このスペースでは触れられませんが、その兄弟を困らせるためにするザーコのイジワルが、結果的に、その兄弟を再生させてしまう物語といったところでしょうか。

　芝居終盤の大橋さんの演技は圧巻で、あの長い台詞では「グッ」と来ました。自分にとって「じょっぴんかるほど大切なものは何だ？」と考え込んでしまいました。おそらく、一人で見ていたら涙を流してしまったことでしょう。惜しくも全道大会への出場権は逃したようですが、見終わった後、清々しい気持ちになりました。いいものを見せてもらった。ありがとう。

*あしたのために*

 *for tomorrow*

***April 9, 2012→March 1, 2015***

*その２１ October 10 , 2013*

北海道小樽潮陵高等学校

*２年E組学級通信　発行者：中矢秀人*

感受性を豊かに（五十六）

この学級通信は､君たちと私の明日のために、週１回発行する予定です。

　愛知県にいた頃は「修学旅行」としか言いませんでしたから、「見学旅行」という言葉は、北海道に来て初めて聞きました。その後、人から聞いた話では、「修学旅行とは、宿泊研修を含む学校でする旅行のことを指し、その修学旅行の一つが２年生で行く見学旅行だ」と教わりました。あまり納得はしていませんが、まぁそういうことなのでしょう。さて、２年Ｅ組諸君の様子は、翌週に見学旅行を控えているにも関わらず、いたって普通で、浮き足立ったところもなく、実に物足りない。「見学旅行前だからって、調子に乗るな。いい加減にしろ。」と叱られるぐらいでちょうどいいと思うのですが、どんなもんでしょう。だからといって、あえて調子に乗る必要はありません。旅行前の３連休、準備をする中で少しずつ気分も高揚してくるのでしょう。

　３年次科目選択について③

　今回は数学について。週7時間の授業を表の左か右か、どちらかを選択することになります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **数　学** | 数学Ⅲ⑦ | 発展数学Ⅰ④／発展数学Ⅱ③ |

　難関校を志望している場合には、迷わず「数学Ⅲ」です。教育大志望で、将来数学教師になることを志している生徒は、少し迷うところです。今後のためには「数学Ⅲ」を取った方がよいとも言えるし、入試科目では「数Ⅲ」は必要ないので、志望校合格を優先させるために「発展数学Ⅰ・Ⅱ」を選択するのも作戦の一つです。

　その他、理学部・工学部・薬学部・医学部を志望する生徒は「数Ⅲ」。大学・高看問わず、看護を志望する生徒は「発展数学Ⅰ・Ⅱ」。こんなところでしょうか。

　３年次科目選択の最終決定の時期は、12月の初めです。今個人面談を実施していますが、保護者とも話し合った上で、決定をして下さい。

***後期ホームルーム役員　決定しました！***

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評議委員（キャプテン） | 石　井　拓　人 | 福　屋　夏　実 |
| HR議長（副キャプテン） | 八　木　賢　史 | 太　田　茉亜由 |
| 書記委員 | 大久保　莉　湖 | 牧　野　　　絢 |
| 会計委員 | 中　島　光　貴 | 森　下　　　仰 |
| 自治委員 | 野　宮　琢　磨 | 寺　井　亮　太 |
| 保健委員 | 上　口　椋　平 | 金　井　美　月 |
| 球技大会実行委員 | 宗　山　春　香 | 若　見　悠　太 |
| 選挙管理委員 | 神　原　里　菜 |  |
| 図書委員 | 渡　邊　翔　太 | 笹　　　詩　織 |

半年間よろしくお願いします。

　私の住んでいた地域では、山陰・山陽など中国地方に行く高校が多かったのですが、私の高校の修学旅行は少し変わっていて、「加賀百万石」といわれる石川県でした。兼六園などの観光地はもちろん回りましたが、メイン・イベントは過疎化の進む地域の棚田（「千枚田」と呼んでいましたが）の草刈りボランティアをするというものでした。最初はもちろん「え～っ、草刈りかよ～」と思いましたが、世の中に「ランナーズ・ハイ」という言葉があるように、私たちも「草刈り・ハイ」みたいな状態になって、結構楽しくできました。ただ…、と書くともう察しが付くかも知れませんが、その日は雨が降っていて、ずぶ濡れになりながらの草刈りでした。しかし、こういうハプニングがあると、手を貸してくれる人は必ずいるもので、チェックアウトしたはずのホテルは、風呂を沸かして私たちの帰りを待っていてくれました。着替えは日数分しか持って行かなかったから、きっと前にはいたパンツでもはいたのでしょう。かつてブルーハーツが土砂降りの中、野外ライブをしたときに、「せっかく野外でやるんだから、雨ぐらい降らないとおもしろくないだろう」といってライブを始めたことがありましたが、物事は考え方・受け取り方しだいなんだなぁ、と思います。

　旅の楽しみはよく、「６：３：１」だと言われます。あれもしたい、これもしたいと仲間と計画を立てながら心を躍らせる事前の準備の楽しみが「６」、実際に旅行先で名物料理に舌鼓を打ったり、名所を見物したりする楽しみが「３」、旅行から帰ってきた後、写真を見たり、思い出話に花を咲かせたりする楽しみが「１」。いずれにしても、見学旅行の楽しみはすでに始まっています。風邪を引いたり、ケガをしていたりしては、旅の楽しみも半減、いや、台無しになってしまうこともありますから、今後、健康管理には十分気をつけて下さい。今、風邪を引いたり、ケガをしたりしている人は、全力で治して下さい。２年Ｅ組３８名、２学年全体では２８０名という多人数で行く旅行ですから、多少の我慢と努力（？）はどうしても必要です。今ここで、いちいちうるさいことは言いません。旅行中、私がしゃべる機会が多ければ多いほどつまらないものになるでしょう。君たちとの約束は、「フツーに過ごす」、この１点でいかがでしょうか？これだけ守られれば、そこそこ楽しい旅行になりそうです。そして無事に帰ってきましょう。

　実は、私は今回の見学旅行を楽しみにしていて、最近眠りが浅いです。京都・奈良へは小学校の修学旅行で行ったのが最初ですが、行けば行くほど、前には気づかなかった魅力に気づくようになりました。もう一度大学生生活を送ることができるなら、東京では暮らしたことはあるから、きっと京都の大学を選ぶことでしょう。それにしても、ホントに楽しみな見学旅行ですね。